

かんじやと医療

第
54
号

発行所
全国患者団体連絡協議会
 東京都清瀬市松山2丁目13の12
 〒180-04電話 (0424) 93-5871番
 郵便振替東京2-4152
 購読料 1部110円 6カ月分660円



写真募集

春の自然や生活
 運動、文芸、文化等

おもな記事

- 1 年金シンポジウム開催
- 2 健保改悪案の撤回を申入れ
- 3 新障害年金制度案発表
- 3 職業病制度改正必要
- 4 膀胱の腹内再生手術実現
- 5 今の焦点と役立つもの
- 6 全国患者集会活動を開始
- 7 若令老令年金もらった

健保改悪案の撤回、公費改悪反対で

全国患者集会(幹事会)厚生省に申入れ

三月十七日 全国患者集会実行委員会代表六名(同会山本事務局長ほか五名)は、厚生省を訪問、健康保険法「改正」案および運動改悪の準備がすすむら

三月十七日 全国患者集会実行委員会代表六名(同会山本事務局長ほか五名)は、厚生省を訪問、健康保険法「改正」案および運動改悪の準備がすすむら

には医療費の高騰をまねくことなる」と説明しました。坂本課長は「治療内容改善は法案とは別に日医を強く指導していく」として、法案反対に反論できませんでした。

また、「案の実会」では、こうした催し物のほかに、園の協力をえて約二十名の会員が、月二回、唄と踊りと民謡の練習会をひらくなど、趣味を生かした活動もおこなわれています。

当園は、内部障害者の社会復帰をめざすために修得科目として経理・事務科(簿記・珠算)電気技術科(テレビ・ラジオ修理組立)、危険物資格修得科(ボイラー取扱)、農園芸科(花・盆栽・野菜類栽培、洋裁科、和裁科など)があります。

いま在園者はこれらの科目を修得して一日も早い社会復帰をめざし、みんなが連日がんばっています。

障害者のリハビリ

浅川園 ミニゴルフ誕生

東京都八王子市市川町にある、内部障害者更生施設浅川園「案の実会(佐藤務会長)では、昨年夏からミニゴルフ場の整備がすすまられていました。このほど、ミニゴルフ場が完成の運びとなりました。

【東京都患ニュースより】

労災保険改悪に断固反対

全有協 労災補償の骨ぬきと声明発表

全有協(前鉛中毒患者会)は、このほど、今国会に労働省から提出した「労災保険法改正案」に対して、改悪に断固反対の声明を発表しました。

今回の労災法「改正」案は、(扱い)を増長させるものである。労災を引きおこし、職業病を多発させている独占企業の責任を免罪すると共に、職業病患者や労働災害被災者の切り捨て、労働補償の骨抜きであり、災害がくしと職業病の私病流し(健保



正面の大谷局長に申入れの代表

要請書を受けた保険局長以外の局長、課長は「皆さんの要請の趣旨はよくわかります。公費については私達としても反対であり大蔵省や行政管理局の勧告のようにしない方針である」と要請を受けとめる約束をしました。

健保問題では、保険局長不在で、坂本保険局企画課長に面会し、私達は「今回の健保法案の目的である薬づけ医療の是正による医療費赤字解消を、患者の一部負担を大幅に増額することによって行おうとしているが、それは筋が違っている。一部負担になるだけで、薬づけ医療は解決されないではないか。製薬独占の利益優先や日医の根治療法軽視の治療内容を改善すべ

膀胱の腹内再生手術

互療会・全患連の要求実現

二月二十七日、互療会、前田会長他二名と全患連・山本事務局長は厚生省をおとすれ、大谷公衆衛生局長などに対し、人工肛門、人工膀胱についての善処方を要請しました。

「前田会長は「私たちの現代医学では今なお不治の難病とされている直腸がん、潰瘍性大腸炎などの悪性疾患におかれ、人工肛門あるいは人工膀胱、尿路変更などの造設患者です。これらの患者は、共通の悩み

「であります」。と切々と訴えました。

大谷公衆衛生局長は「私も医師ですから、よく実情は理解しております。皆さんの苦勞は大変なものだと思います。昨年、全患連よりこの件について要望

「解いたなき、四点にわたる要請の達成を代表して陳情する次第です。七月にはドイツで開かれる学会で発表する事になっております。それは、人工膀胱を腹内再生造設する新技術です。五十五年度は全国の国立病院で新技術による手術の出来るようにしたい」との回答がありました。

誌代送金のお願い

本誌で購読の皆さんにお願ひがあります。実は皆さんの協力のよりの購読者は相当なえこまいました。事務局長が手薄のため、購読料の請求が出来ないでいます。申訳な

「えとありますが、決算をひかえておきますので送金下さるようお願いいたします。

「郵便振替東京二四一五二」でお願いします。

連載2

その二に入る前に、この提言案を書く目的について、数人の読者から「誰が何のために提言するのか」の質問があったのでお答えしたい。

全患連第五回大会は、国民本位の医療づくりを決議している。そこで、当面、健保と公費負担医療の大改善に対して、その反対運動を展開している。この反対運動は、現状を守る目的をもっているが、私たちの切実な要求を表現する目的は果せない。従って、反対運動を成功させると同時に患者・国民本位の公費負担医療制度を総合的につくるための粗材としての目的をもったものとしてご理解いただきたい。

前回は、制度案の骨組みの中の国などの責任と対象疾病について書いたが、今回はその内容に入りたい。



国際障害者年マーク

来年は国際障害者年 健保公費改悪反対

(1) 国と企業ならびに自治体の責任について、国の戦争政策による戦傷病者の医療と生活保障は下級兵士の大部分が低く、原爆被爆者の保障は全く不十分である、(2) 社会防衛上の責任でみるべき疾病(法定伝染病、結核、精神、ハンセン氏病)は、最近、政

同時疾病原因、治療法未確立など医療の中心が未解決であり、その研究に公費が保障されなければならないなど、国と企業ならびに自治体の責任を更に明確にする必要があると思ふ。

(2) 対象となる疾病については、前回ほど書いたため、今回は、医療費などを公費で負担しなければならない理由について書いてみる。

(1) 国の政策によって発生した疾病(戦争による傷病者、原爆被爆者)は、戦争政策という国の政策上発生したものであるから、当然、国の直接的な責任(公費)において負担するのが当然だと思ふ、(2) 伝染病、結核、ハンセン氏病、精神病、性病などは、国民の生命と健康を守る(社会防衛)

府は国の責任は終わったと各々の公費制度改悪に着手しようとしているが、いさかかも国の責任は終っていない、(3) 社会的保護を必要とする疾病(老人病、障害者児、難病、母子その他難治性疾患)については、経済的に個人や世帯の能力では限界にあること

健康を守る事が困難だから健康保険の適用だけでは、命と健康を守る事が困難だから、国と自治体の保護責任があるし国民的課題である。

残業すれば病気は悪くなる

慢性肝炎Sさんの切なる悩みの訴え

三月十六日の「年金シンポジウム」(主催、障害年金改正をすすめる会)において、肝炎患者のSさんより、つぎのような訴えと相談がされました。

私は、昭和五十一年五月二十八日(初診日)より慢性肝炎で入院治療をつけ、途中退院、同年十二月再入院、昭和五十二年四月より外来に通っています。昨年十一月から足にムクミ

がで、胃の検診がなされ、先生は「無理するな」と云ってくださる姿に、おいて、肝炎患者ですが、私は機械工で給料はやすく時々残業せざるを得ません。病気は悪くなることはわかっていますし、生命の不安もありませんが、家族をかかえて残業もせざるを得ません。せめて、残業をちりやめて病気を治せるようにするには、障害年金を受けるか、毎月給料から

着引かれる税金の免除をしてもらうことはできないものでしょうか。

この訴えはわずか一枚の相談カードに書かれたもの。心ののやり切れなさがわかります。同じ悩みの人が多いのでは。

意外に知らない時効救済

障害年金申請は時効でダメになった人の救済可能

障害年金あるいは障害福祉年金の申請は五年間しか有効ではありません。

五年間のうちに申請しないと年金はもらえません。それは、法律の中に、時効という条文があるからです。この時効は、国

国民年金では、老齢年金で加入期間の短縮措置を行っていますが、通算老齢年金では同様の措置をしていません。

社会保険庁は、昭和五十三年の各地ブロック会議で「重要な事項(前記)について、一

月文書で回答しました。社会保険庁の右回答をみますと「老齢年金では、加入期間を短縮されている人々に対して優遇措置を設けているが、同じ措置を通算老齢年金に設けることは、通算老齢年金の性格上、他の年金制度全体を改正しなければならぬので困難である」と答えています。

つきに、同ブロック会議で国へ返戻する取扱いも可と答弁。

今の焦点は「役立てる」

二月二十七日の厚生省社会局長は「一制度創立した所期の目的を達成したあらわれた。勧告は老齢年金制度を必要としないという理由がみられない。最近の老人医療費の動向は有病率、受診率とも低下している。行管庁の指摘はむしろ日本の医療制度全体のヒズミの問題である」とそれらのデータをしめし、勧告が美態にそわないものと批判したが、これについて、古市課長

は「一制度創立した所期の目的を達成したあらわれた。勧告は老齢年金制度を必要としないという理由がみられない。最近の老人医療費の動向は有病率、受診率とも低下している。行管庁の指摘はむしろ日本の医療制度全体のヒズミの問題である」とそれらのデータをしめし、勧告が美態にそわないものと批判したが、これについて、古市課長

三月十六日の「年金シンポジウム」(主催、障害年金改正をすすめる会)において、肝炎患者のSさんより、つぎのような訴えと相談がされました。

私は、昭和五十一年五月二十八日(初診日)より慢性肝炎で入院治療をつけ、途中退院、同年十二月再入院、昭和五十二年四月より外来に通っています。昨年十一月から足にムクミ

老人医療見直し勧告

古市課長 実態はぐわらないと批判

通老に期間短縮措置はダメ

特例納付や脱退手当返戻で通老資格可能

国民年金では、老齢年金で加入期間の短縮措置を行っていますが、通算老齢年金では同様の措置をしていません。

社会保険庁は、昭和五十三年の各地ブロック会議で「重要な事項(前記)について、一

月文書で回答しました。社会保険庁の右回答をみますと「老齢年金では、加入期間を短縮されている人々に対して優遇措置を設けているが、同じ措置を通算老齢年金に設けることは、通算老齢年金の性格上、他の年金制度全体を改正しなければならぬので困難である」と答えています。

つきに、同ブロック会議で国へ返戻する取扱いも可と答弁。

三月十六日の「年金シンポジウム」(主催、障害年金改正をすすめる会)において、肝炎患者のSさんより、つぎのような訴えと相談がされました。

私は、昭和五十一年五月二十八日(初診日)より慢性肝炎で入院治療をつけ、途中退院、同年十二月再入院、昭和五十二年四月より外来に通っています。昨年十一月から足にムクミ

結核回復者たちの手で

共同作業所づくり 土屋幸義

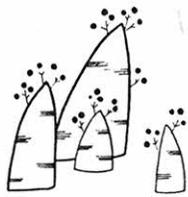
土屋さんは港湾労働者として働いていましたが、昭和二十四年に結核発病。約二十年の療養生活をがんばりぬき、昭和四十三年に社会復帰。その間「日本患者同盟」に加盟、長期療養中も活動されました。

「厚生園を出て社会復帰後も、仕事もなく、生きがいもなく、ひっそりと暮らしている人が多いのに気が付き、友人から仕事をまわしてもらい、共同作業所を家族の協力のもとに一年半前から始めました。

氏が車で仕事を配達、製品を回収するこの形で、市住二間の家はまるで倉庫さながら。しかし、仕事を通じ、仲間との運営は大変ですが地域に根を

おろし、市を動かした活動に、大きな教訓をくみとることができま

「このことが現在兵庫の各地ですすめられている共同作業所」の運動に、大きな励ましを与えらるものと確信します。



本流

最近、21世紀 健康への展望という本がメチカルフレンド社から発行された。

この本は、大谷藤郎・医学博士の著書である。氏は昨年政府代表として国連およびWHO(世界保健機構)国際会議に参加してきた。著者紹介はこれくらいにして、21世紀

不思議な魅力の本

健康への展望の中身を紹介したい。

医療の展望、この中では、幸福を求めながら、21世紀を考へ、21世紀への新しい道は、従来のような経済の成長と

「21世紀の保健医療従事者は、技術の人であるだけでなく、全人的な真の幸福と健康を哲学する人でもあらねばならないと思」と教えている。そして「医学は疾病を追放

か、高学歴化、また身体が頑丈であればよいあるいはただ寿命を長びかせればよいといった部分的に追及するものではないと云っている。

また、保健医療従事者も、

「21世紀の国民の健康づくり」は、病院の中だけの医療から地域ぐるみのケアにと説いている。太平洋の中で新島を見つけたような本である。山

患者運動

長 宏 著 勁草書房刊

定価 1,200円 円160円

世界でもめずらしい、といわれる「患者運動」が、なぜ日本だけに発生したのか。人権意識をもって立ち上った患者運動の現状と課題を明らかにしています。必読の書。

お申込み 現金(切手も可)でお申込み下さい。
 全国患者団体連絡協議会 東京都清瀬市松山2-13-12

「がんじやと医療」

「ご購読のおねがい」

本誌は、全国患者団体 さらすようお願いいたします。

連絡協議会(略称・全患 申込先 〒180-0104 東京都清瀬市松山 二一三一二本 誌編集委員会まで 購読料六ヶ月六〇〇円

健保・公費医療改悪に反対し

全国患者集会(幹事会)は運動を開始

ふたたび、「ゆたかな医療と福祉をめざす全国患者・家族集
会―実行委員会」は、健康保険と公費医療の改悪をけいきに

運動を開始しました。結核も難病も、障害者も老人も、すべて
特別扱いほしくないという福祉切り下げの中から……

三月十五日、東京・千代田区

事務局からの報告は、①昨年

た健保・公費医療については、

ることにりました。

家族集会の第八回幹事会が開か

悪反対の国会請願のとりくみ、

①改悪内容の分析、②幹事会と
備をすすめることに決りまし

れました。

③実行委員会ニュース発行、④

め方(十七日に厚生省申入れ)
た。

幹事会は、健保・公費医療改

会計報告が行なわれました。

第二回集会のもち方について

悪の動きのきんぱく化を反映し

つづいて、健保・公費問題に

も、第八回実行委員会で協議す
ることになりました。

て開催されました。

同幹事会には、長、上田、伊

すめ方については、各党要請に

藤の代表幹事、山本事務局長、

た。とくに、地域難病連の第九

合せて幹事会を開き再度検討す

小林事務局次長、前田、富田、

回交流会の決議とアヒールがく

わしく報告されました。

申し入れた要求

1、患者負担増、受診抑制の
健保法案は直ちに撤回。

2、療養給付は本人家族とも
十割にしてください。

3、予防から治療、リハビリ
まですべて保険給付にしてくさ
い。

4、室料、付添看護料の患者
負担を廃止し、保険給付に。

5、移送費、血液集めの患者
負担を全廃してください。

6、国保に傷病手当新設。

7、公費の保険優先に反対。

8、難病治療研究・小児慢性
治療研究(公費)に所得制限導
入反対です。

9、老人医療有料化反対。

10、更生医療の諸制限撤廃。

11、難病対策の拡大と義務化

12、公費医療の総合制度化。

13、投薬証明のない被患者も
薬害救済の対象にしてください。



医療ニュース

2月

二月

▲二日 慢性一酸化炭素中
毒患者会が新年会開く

安全衛生法、同規則改正で答
申

▲四日 労災保険審 労災
保険法一部改正で答申

▲八日 自治省 地方税法
改正案で国保税の課税限度額
を二十二万円を二十四万円に

▲五日 中央社保協 国民
年金改善で国民年金審議会に
要請

▲十日 地域難病連
神戸で第九回交流会開催

▲五日 中央労基審 第二
爆と各種共済年金で改正の答
申

▲十二日 社保制度審 原
案

▲十四日 スモン全国協議
会 東京で大集会

▲十四日 衆院社労委理事
懇 法案審議を協議、十九日
は厚相、労相の所信表明と予
算案説明、医療保険小委の設
置等を説明うけた。

▲二十日 全患連 第二回
展望を開いた

▲二十一日 衆院社労委
野呂厚相の所信表明の質疑、
健保法改正案、原爆改正案の
提案説明をうけた。

▲六日 野呂厚相 薬価基
準の改定を衆院予算委で答弁

▲二十二日 厚生省 昭和
五十三年の医師数十四万二千
九百八十四人と発表

▲九日 全難連 年金学習
会を開催

▲二十七日 全患連と医療
厚生省に要請

▲九日 社保制審 労災と
民事賠償の調整など労災保険
改正を答申

▲二十七日 厚生省 高令
者世帯九〇%年金受給と発表

▲八日 中央労基審 労働
者世帯九〇%年金受給と発表



若齢老齢年金もらった

パーキンソン病 渡辺陽子

謹啓 全患連に大変お手数を
おかけしました若齢老齢年金が
通りました。ほんとに有難度う
ございました。これで助かり一
安心です。年とった母も皆さま
のお力で感謝しております。

これは、全患連とパーキンソ
ン病友の会事務局長の河野さん
達役員の皆様の激励があったか
らだと感謝でいっぱいです。こ
の経験は、国民の権利がいかに
大切なものかよくわかりまし
た。

私が初めて依頼をうけたのは
一昨年の七月でした。それから
一年と九カ月になりました。

最初は、厚生年金を二十六
年かけているので障害年金を申請
したら、廃疾認定では「障害等
ては本件審査請求を棄却する」
で不成功に終わりました。ただし、

このうれしい便りは、三月十
四日ありました。郵便箱に社会
保険事務所からの通知書が入っ
ておりました。

【お返事】 渡辺さんよかっ
たですね。随分お待ちになら
なさい。随分お待ちになりました。
重症を患いましたが、これも
五年を過ぎていました。やむを
うねほりによるものです。

得ず、障害年金の却下には不服
申立てをし、併行して若齢老齢
年金の申請をすることを相談し
ました。

結果は、障害年金の不服申立
ては不成功に終わりました。た
だし、

パーキンソン病を通して難病の
実態、副作用の実態を審査会
の皆さんに具体的な事例として理
解を深めることができ、若齢老
齢年金は、なんとしてでもとい
うねほりによるものです。

全国患者団体連絡協議会加盟組織

〈五寮会〉

〒105 港区西新橋3-15-10原色版印刷内
☎03 (433) 1641

〈全国交通労働災害対策協議会〉

〒171 豊島区西池袋1-4-5
☎03 (982) 7361

〈全国腎臓病患者連絡協議会〉

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)
☎03 (952) 5340

〈全国心臓病の子供を守る会〉

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル
☎03 (256) 8424

〈全国ハンセン氏病患者協議会〉

〒189 東村山市青葉町4-1-10
☎0423 (94) 1571

〈全国職業性有害物障害患者協議会〉

〒105 港区新橋6-15-4
☎03 (433) 2082

〈日本患者同盟〉

〒180-04 清瀬市松山2-13-12
☎0424 (91) 0058

〈慢性一酸化炭素中毒患者会〉

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5代々木病院内
☎0493 (24) 1293 後藤究

患者・障害者の 年金12章

渡辺清著 B6判 400頁 1,500円 1610
障害年金を中心に老令、遺族年金などと労災保険
などの調整について、くわしく解説。
年金問題で必読の書。 鳩の森書房

ご注文は本誌編集委員会までおねがい
します。

便りと広告募集

本誌編集委員会

当編集委員会は、みなさ
す。

人のお便りと広告の紹介を
お待ちしております。

お便りはどんな内容のも
のでも結構です。たとえば
皆さんやご家族の要望や訴
えなども写真でもよいで

原稿と共に料金をそとてお
送りください。

広告は、一段全部で二万
五千円、二段で三万円です。